



「富士山百景」 荒天のおくりもの

VOL. 2651

Rotary International

「品格そして実行」

第2651回例会 2019.5.15

ソング「日も風も星も」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:植田 眞晴
 副会長:吉野 榮司
 幹事:佐藤 昌久
 副幹事:吉田 浩之

会長挨拶

植田 眞晴

皆様こんにちは

本日例会終了後 富士市立中央病院に「赤ちゃん用のおしりふき等」の衛生用品50ケースを納品に行きますので行ける方はご協力ください。14時から中央病院正門にて寄贈式を行った後、保管倉庫への納品を手渡しで行いますので作業の出来る格好で来て下さい。

当クラブの行っている社会奉仕活動の中でこの医療機関への支援活動は岩本山の整備事業の次に歴史が古く又、多くの会員さん 特に中嶋康治元会員などの熱い思いが込められております。

平成15年、当時はまだ「未熟児用の紙おむつ」というものがなく多くの病院で対応に困っているという状況を中島産婦人科の医院長だった中島さんから聞いて それならばと「小さな命に手を貸そう」をテーマに当クラブが立ち上がり 当事会員だった紙おむつメーカーのコーチョーの故渡辺守さんにご協力頂いて「未熟児用の紙おむつ」の寄贈がスタートした訳です。

当時は県下にある4つの病院(富士市立中央病院、伊豆長岡順天堂病院、県立こども病院、聖隷浜松病院)に240枚入りを15ケースそれぞれの病院にお届けしていたので計算すると14400枚もの紙おむつを機械ではなく全て手作りで作っていたと後に守さんからお聞きしました。

配送のトラックがそれぞれの病院に行く出発式には早朝にもかかわらず会員も集合して見送りをしました。その時の渡辺守さんの満足そうな顔が忘れられません。

その後「未熟児用の紙おむつ」は市販されるようになり とひとまず我々の役目も終え一区切りしたところで現在では富士市立中央病院にのみ「赤ちゃん用のおしりふき等」の寄贈を行っております。そしてただ渡すだけではなく病院内の保管倉庫への搬入まで協力して行っているところがいかにもこのクラブらしいところだと思います。

富士ロータリークラブは市民の憩いの場である岩本山公園の整備事業を長くやって来ましたが もう一つの柱である医療機関への支援も継続して行きながらこの国の将来を担う大切な大切な小さな命をこれからも守って行けたらと思います。

今日はみんなでいい汗をかきましょう。

幹事報告

佐藤 昌久

①例会変更のお知らせ

- 新富士RC 6/4休会
- 富士宮西RC 6/28 移動例会
- 長泉RC 5/29休会
- 裾野RC 5/17・31(メイク無)
- 沼津北RC 5/31(メイク無)

②お知らせ

- ・5月のロータリーレート 112円
- ・地区補助金プロジェクト一覧
- ・ポリオ寄付一覧

②会報回覧 富士山吉原クラブ 富士宮クラブ

- 沼津クラブ 沼津西クラブ

親睦委員会

太田 義隆

夫人誕生日	井出 倶子	6.15
結婚記念日	瀬尾 究	S44.5.17
	望月 昭宏	S62.6.6
	本野 仁	S63.6.11
入会記念日	井出 清章	S63.5.18
	望月 昭宏	H27.5.27
	今村 雄一郎	H28.6.1
創立記念日	磯西 昭	S47.6.1
	宮下 正雄	S22.6.1
	田邊 登崇	S44.6.12

★私のスマイル

岸本泰次君 母親が5月5日に元気に100回目の誕生日をむかえる事ができました。感謝です。

井出清章君 先日、田貫湖を散歩中めづらしい場面に出会いました。釣り人のえさを鴨が喰いつき釣られ大あばれ…ようやく引き寄せ針はずし、放すと元気よく飛び去って行きました。鴨も釣れるのだと初めて知りました。

勝又 洋君 私、勝又、この5月20日付で転勤となり、蒲原支店長兼イオンタウン蒲原支店長とし

例会プログラム予告

6月5日 夜間例会 (内容・場所未定)

6月19日 期末クラブ協議会(1) (委員長報告)

て着任することとなりました。後任として花村が支店長として着任いたします。変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。

田邊登崇君 6月で父の代から今年で創立50年になりました。多くの方の手助けがあってこそだと思います。これからもよろしくお願いいたします。

出席報告

太田義隆

2651回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	7名	26名	78.7%

2649回 4/24確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	33名	7名	26名	78.7%

赤ちゃん用衛生用品寄贈

例会終了後、富士市中央病院に「赤ちゃん用おしりふき等」の衛生用品50ケースを今年も寄贈させていただきました。



山口ガバナー補佐訪問



静岡第2グループ
ガバナー補佐 山口和一様
本年度を振り返り

2018-2019年度は、第2620地区において分区再編が行われ、当分区は旧第3分区の9クラブと旧第2分区から御殿場RC・裾野RC・長泉RCの3クラブが合流し、静岡第2グループとしてスタートしました。つい先日、平成から令和へと元号が変わり、私にとっては記念すべき平成最後の静岡第2グループのガバナー補佐となりました。そして、その役目も残すところ

一か月余となりました。本日の期末訪問の目的は、地区目標の達成状況の確認や報告です。各クラブの諸事情により進捗度はそれぞれだと思いますが、地区の重点目標である①会員増強・維持、②R財団・米山奨学会・米山記念館への寄付・支援、③ポリオ撲滅活動への参加、④ロータリーの公共イメージの向上等に向けた事業展開に多大なご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。

日本のロータリー創立100周年を来年に控え、ロータリーも年々変化をしている中、ロータリアン・職業人としてのリーダーシップとは？財団とは？奉仕とは？今後のロータリーがどうあるべきか？等々様々な観点から議論するRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)が新たに始まるようです。現在DL(ディスカッションリーダー)養成講座が開かれています。次年度、RLIの出席要請がありましたら積極的に参加の程宜しく願っています。

また、ガバナー補佐としての一大イベントであるIM(インターシティー・ミーティング)に、多くのロータリアンの出席をいただきありがとうございました。本年度は、分区再編成により新しいクラブとの交流が始まったこと、グループ内に米山梅吉記念館が存在することから、「『絆・新しい出会い』～米山梅吉翁を知る～」をテーマに開催させていただきました。講師に沼津市出身としては初の真打である三遊亭朝橋師匠をお招きし、梅吉翁の生い立ちや経歴を落語で講演していただきました。多くの方から高評価を頂きました。是非、朝橋師匠の高座の機会を設けていただけると幸いです。

それから、今回のIMでは、記念品として、梅吉翁が提唱した「新隠居論」の小冊子を皆様に配布させていただきました。梅吉翁は、隠居した人は、今まで職務が忙しくて出来なかったことをみつけて、何か社会公衆の為に奉仕をしなくては、人間として義務を果たしたとは言えない。人間、事業に成功して目途がたったら、後進に道を譲って報恩、社会奉仕の方法を探すべき。隠居して引退するのではなく、隠居してなすべきことをすると説きます。このとき梅吉翁は46歳、まさに働き盛りの時でした。実際に梅吉翁が実業界から身を引くのは20年後ですが、この奉仕論を元に三井報恩会・東京ロータリークラブ設立、小学校建設、郷里長泉村への寄付など積極的に行動して思いを形にしていきました。「新隠居論」の小冊子は背広の内ポケットに入るサイズですので、皆様のバイブルにさせていただけると幸いです。

ここで、米山梅吉記念館での体験談をお話させていただきます。私が米山梅吉記念館を訪問したときのことです。そこにはオーストラリア人の女性の方が一人で大阪から来館されていました。山口「今日は、どうされましたか」女性「私は、以前米山奨学生でした、今日はお礼に来ました」山口「記念館は、何回目ですか」女性「今回が初めてです」山口「では、お墓参りもしますか、案内しますよ」女性「是非お願いします」彼女が生花と線香を持参していたのには、少しびっくりしました。そして彼女は、梅吉翁の墓だけでなく親族の墓も掃除をし、花をさし線香をあげ長らく手を合わせていました。彼女が「やっ、先生にお礼が言えました」と涙を溜めて言っていたのが印象的でした。

現在、彼女は起業して大阪にいるそうです。私が「ロータリークラブには入らないの」と聞くと、彼女は「入ろうとしたら女人禁制のクラブでした」と笑いながら、「私はロータリークラブに入って、今度は恩返しをしたいのです」と言っていました。我々の米山奨学会への寄付は、活かされているのだと実感した一コマでした。

米山学友会のメンバーに聞くと、米山奨学生の8割の人は、将来も何らかの形でロータリーに関わって行きたいと考えているようで、なかにはクラブに入会することも考えている人が多くいるとのことでした。

(以下紙面の都合上割愛させていただきます)

編集者 瀧 真砂人